

中小企業DXモデル事業の開発・実証支援第2弾を実施します！

～enefla(株)のEV充電器用「課金・充電管理システム」開発について～

本市では、市内中小企業における事業の再構築や新たなビジネス展開の実現を図るため、令和5年度からデジタル技術を活用したDX（デジタルトランスフォーメーション）のモデル事業の開発・実証支援に取り組んでおり、令和5年度は二つの事業を採択し、実証実験の伴走支援を行いました。この度、令和6年度に採択した二つの企業の内の一つであるenefla(株)により、開発されたEV充電器用「課金・充電管理システム」の実証実験の支援を開始します。

1 中小企業DXモデル事業 採択内容

企業名	事業名・事業内容
enefla(株) (本社：高津区子母口)	●EV充電器用「課金・充電管理システム」開発 国では、2035年までに乗用車新車販売で電動車100%が示される等、カーボンニュートラルの実現に向けた取組が進められている中、EV充電器は共用分電盤等から電源を供給するため、充電器の利用時に電気代を個別に収受する手段がなく、設置主が電気代等の費用を支払うことになり、EV充電器の普及の障害となっています。本事業では新たにEV充電器用の「課金・充電管理システム」を開発し、利用者の費用負担の明確化や、充電器利用のデータ活用により、電気契約の見直し等に伴う設置主の収益拡大や、物件価値の向上等を通じて、EV充電器の普及を促進し、脱炭素社会に貢献します。

(モデル事業採択企業概要)

enefla(株)は、川崎市高津区子母口にて、2023年12月に設立され、EV充電器サービスをメイン事業として、「脱炭素社会の実現」「インフラ課題の解決」をミッションに取り組んでいます。

2 具体的な事業開発・実証内容について

(1) EV充電器決済手段にあたる「課金・充電管理システム」の開発・運用サポートの提供

マンション等の共同住宅では、共用分電盤から電力を供給しており、EV充電器利用者の個別の決済手段がなく費用負担の明確化ができないことから、EV充電器の普及が進まないという課題があるため、EV充電器の決済手段として必要となる「課金・充電管理システム」を開発します。利用者に向けては、EV充電器に接続し、二次元コードを読み込むだけで、簡単に充電時間や決済方法を選択できる等、UIにこだわった設計となっているとともに、管理者に向けては、充電時間・売上情報等の様々なデータを提供できる仕様となっています。

※詳細は、enefla(株)のホームページのURL (<https://enefla.co.jp>) を御確認ください。



(2)「課金・充電管理システム」を通じた物件価値・企業価値の向上に向けた実証について

①(株)南荘石井事務所の管理する月極駐車場にE V充電器及び「課金・充電管理システム」を導入し、E V充電器・システムの使用感や、月極駐車場に係る新規顧客の獲得可能性等を実証します。

【日程】令和7年1月20日(月)～令和7年2月28日(金)

【場所】神奈川県川崎市中原区下新城3丁目2番15号

②店舗：Porte Bonheur (ポルトボヌール)の店舗駐車場にて、E V充電器及び「課金・充電管理システム」を導入し、店舗来場者へアンケートを実施することで、E V充電器・システムの使用感や、E V充電器設置を通じて店舗の顧客数・売上増の向上等を実証します。

【日程】令和7年1月20日(月)～令和7年2月28日(金)

【場所】神奈川県相模原市南区当麻2339番地

※詳細は、enefla(株)のホームページのURL (<https://enefla.co.jp>) を御確認ください。



3 ハンズオン支援

中小企業DXモデル事業開発・実証支援では、専門家を交え、採択企業との定期的なミーティングにより、提案事業の目標設定、顧客像、社会課題の整理や、進捗管理などの伴走支援を行っています。



事業計画に関してミーティング
enefla(株)×専門家



実証内容に関してミーティング
enefla(株)×(株)南荘石井事務所×専門家

4 今後のスケジュール(予定)

令和7年2月末まで 事業実施

令和7年3月中旬 成果報告会

5 その他

本事業の詳細は、市ホームページの

URL (<https://www.city.kawasaki.jp/280/page/0000151279.html>) を御確認ください。



【問合せ先】

川崎市経済労働局経営支援部経営支援課 加藤
電話 044-200-2325